取扱説明書

HITACHI
Inspire the Next

EZ シリーズ WEB 設定ツール

EZ-CB120LE
EZ-CB120
EZ-CD120LE
EZ-CD120
EZ-MD110

このたびは本ソフトウェアをご使用いただき、まことにありがとうございます。
本ソフトウェアは日立監視用ネットワークカメラ EZ シリーズ専用です。

取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

株式会社　日立産業制御ソリューションズ
〒110-0006　東京都台東区秋葉原 6 番 1 号
秋葉原大栄ビル

© Hitachi Industry & Control Solutions, Ltd. 2018
QR89094

目次

1. はじめに 2

2. ログイン画面 5

3. 映像表示と各種設定 6

3.1 ツールバー 7
3.2 映像表示用ソフトウェア 8
3.3 ライブビュー 10
3.4 設定 11
3.4.1 エンコード 11
3.4.2 画像 15
3.4.3 映像 23
3.4.4 ネットワーク 24
3.4.5 システム 27
3.4.6 アカウント 32
3.4.7 イベントソース 34
3.4.8 イベント通知 36

4. 付録 36

4.1 ソフトウェアライセンス情報 36

1. はじめに

EZ シリーズ WEB 設定ツール（以下、「本ソフトウェア」）は、日立監視用ネットワークカメラ EZ シリーズ（以下、「EZ シリーズ」）の各種機能の設定、および設定情報を確認するためのソフトウェアです。
本ソフトウェアは、以下の環境でご使用できます。

■対応製品

製品名	型式	ファームウェア バージョン
日立監視用ネットワークカメラ EZ シリーズ	EZ-CB120LE / EZ-CB120 EZ-CD120LE / EZ-CD120 EZ-MD110	x01.24.21.01 以降

・本取扱説明書に記載の内容は、上記ファームウェア バージョンに適用しています。

■動作環境

OS	Windows® 7、Windows® 8.1、Windows® 10
CPU	Intel® Pentium® 4 2.4GHz もしくはこれと同等以上
メインメモリ	1 GB 以上
画面解像度	XGA（1024×768）以上 DPI を通常の 96DPI（100%）以外に設定している場合、正しく表示しないことがあります。
対応ブラウザ	Internet Explorer バージョン 11

・Windows®は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
・Intel® Pentium®は、Intel Corporation またはその子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
・Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

■対応ブラウザについて

・Internet Explorer 以外のブラウザには対応していませんので、動作は保証されません。
・Internet Explorer のバージョンをご確認ください。
動作環境を満たさない場合、メニューや映像が正しく表示されません。
・ブラウザ画面の拡大／縮小機能は使用せず、100%でご使用ください。
拡大されていると、画面の端に配置されているボタンが表示されないことがあります。
・ブラウザ画面の互換表示設定を有効にすると、画面レイアウトが崩れる場合があります。
互換表示設定は無効の状態でご使用ください。

■映像表示の準備

本ソフトウェアで EZ シリーズのストリーム映像を表示するためにパソコン（Internet Explorer）の準備を行います。

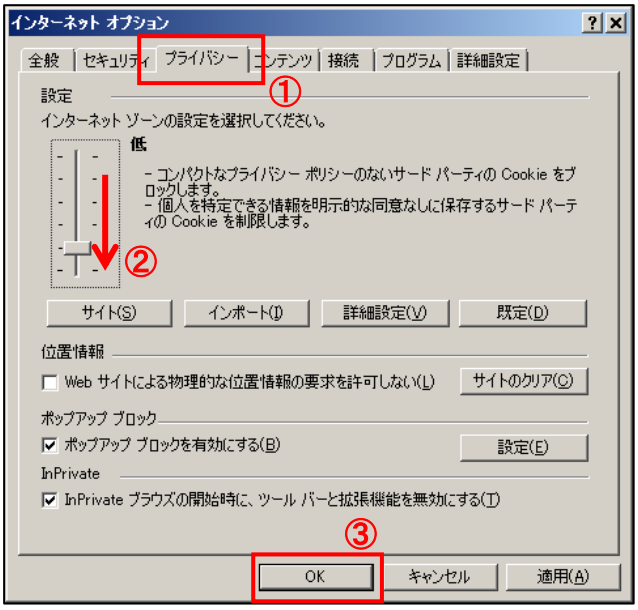
（1）インターネットオプション内でプライバシーの設定を変更します。

Internet Explorer のツールメニューより［インターネットオプション］をクリックします。

①[プライバシー］タブを選択します。

②[インターネットゾーンの設定］スライダーを［低］に移動します。

③[OK］をクリックします。



（2）インターネットオプション内でセキュリティの設定を変更します。

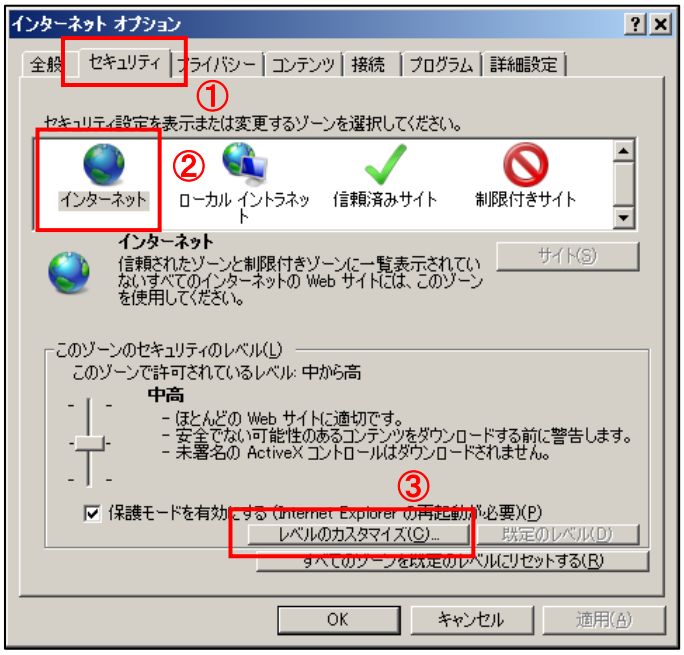
Internet Explorer のツールメニューより［インターネットオプション］をクリックします。

①[セキュリティ］タブを選択します。

②[インターネット］アイコンをクリックします。

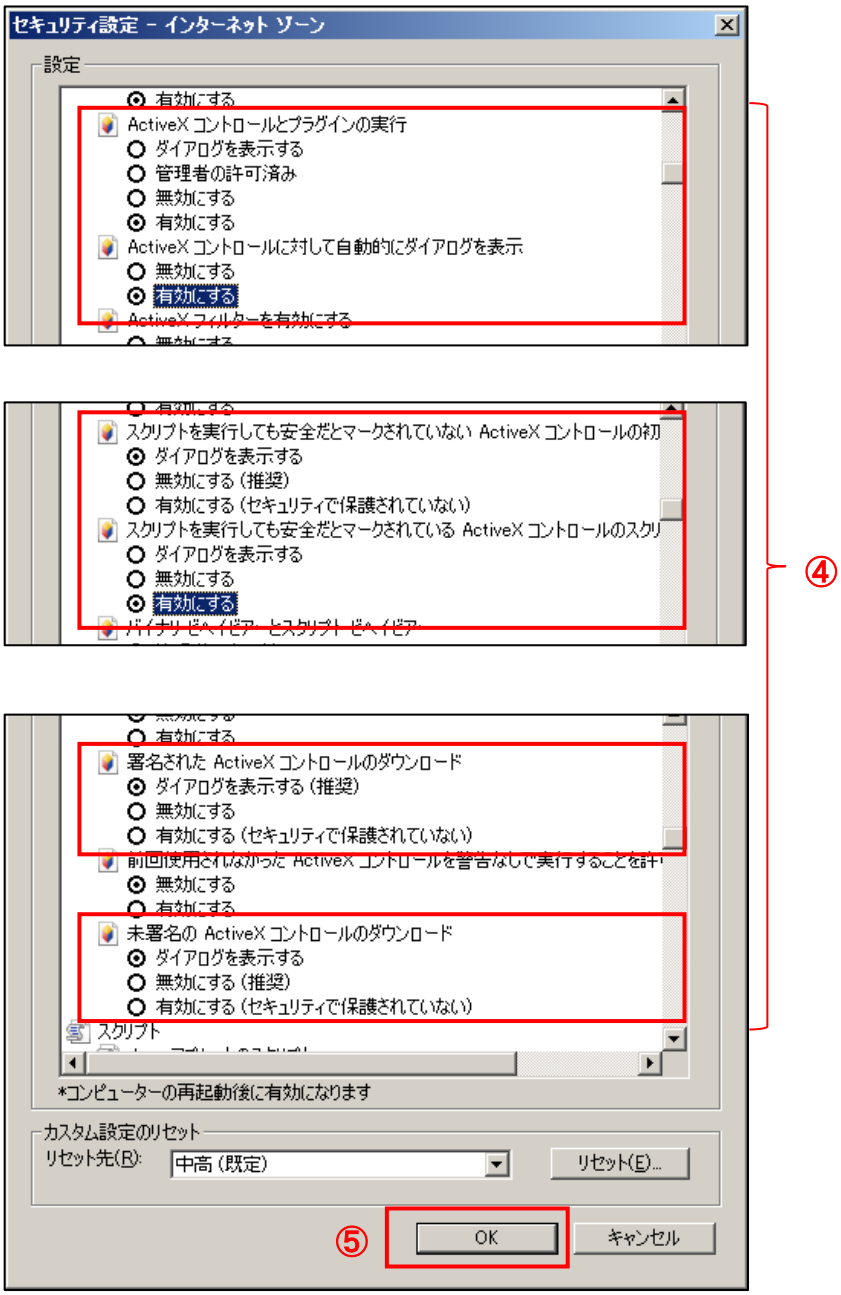
③[レベルのカスタマイズ］をクリックします。

セキュリティ設定 － インターネットゾーンのダイアログが表示されます。



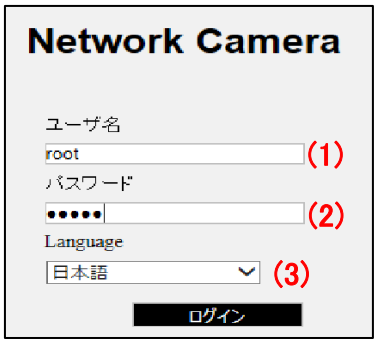
④ActiveX コントロールおよびプラグインまでスクロールして以下のように設定します。
［ActiveX コントロールとプラグインの実行］ ➔ ［有効にする］ を選択します。
［ActiveX コントロールに対して自動的にダイアログを表示］ ➔ ［有効にする］ を選択します。
［スクリプトを実行しても安全だとマークされていない ActiveX コントロールの初期化とスクリプトの実行］
➔ ［ダイアログを表示する］ を選択します。
［スクリプトを実行しても安全だとマークされている ActiveX コントロールのスクリプトの実行*］
➔ ［有効にする］ を選択します。
［署名された ActiveX コントロールのダウンロード］ ➔ ［ダイアログを表示する(推奨)］ を選択します。
［未署名の ActiveX コントロールのダウンロード］ ➔ ［ダイアログを表示する］ を選択します。
⑤［OK］ を押して設定を保存します。

Internet Explorer を閉じて、再び Internet Explorer を起動してください。



2. ログイン画面

Internet Explorer のアドレスバーに、EZ シリーズの IP アドレス［192.168.0.100（初期値）］を入力すると、次の認証画面が表示されます。



ユーザ名、パスワード、および Language を入力し、［ログイン］をクリックします。

（1）ユーザ名

EZ シリーズに接続するためのユーザ ID を入力します。

初期値は、［root］となっています。

（2）パスワード

EZ シリーズに接続するためユーザ ID に対応したパスワードを入力します。

初期値は［admin］となっています。

（3）Language

設定値 ： 日本語（初期値） / English

メニューの言語を選択します。

お知らせ

・日立ネットワークレコーダー（以下、ネットワークレコーダー） DS-NR108 シリーズ、DS-NR1000 シリーズに接続すると、EZ シリーズの IP アドレスが初期値（192.168.0.100）から自動変更されます。
自動変更された後の EZ シリーズとパソコンを接続する場合、Internet Explorer のアドレスバーに入力する IP アドレスは初期値ではなく、変更後の IP アドレスになります。
またパソコンの IP アドレスも EZ シリーズに合わせて変更する必要があります。
ネットワークレコーダーの画面上で、EZ シリーズの IP アドレスがいくつに変更されているかを、よくご確認のうえ、パソコンと接続してください。

・DS-NR108 シリーズの WAN ポートを経由して EZ シリーズにアクセスする場合、Internet Explorer のアドレスバーに入力する URL は、http://192.168.1.200:800x になります（但し、192.168.1.200 は DS-NR108 シリーズの初期値であり、実際に接続している DS-NR108 シリーズの IP アドレスに合わせます。
また x は DS-NR108 シリーズに接続されている CH 番号(1～8)です。）。

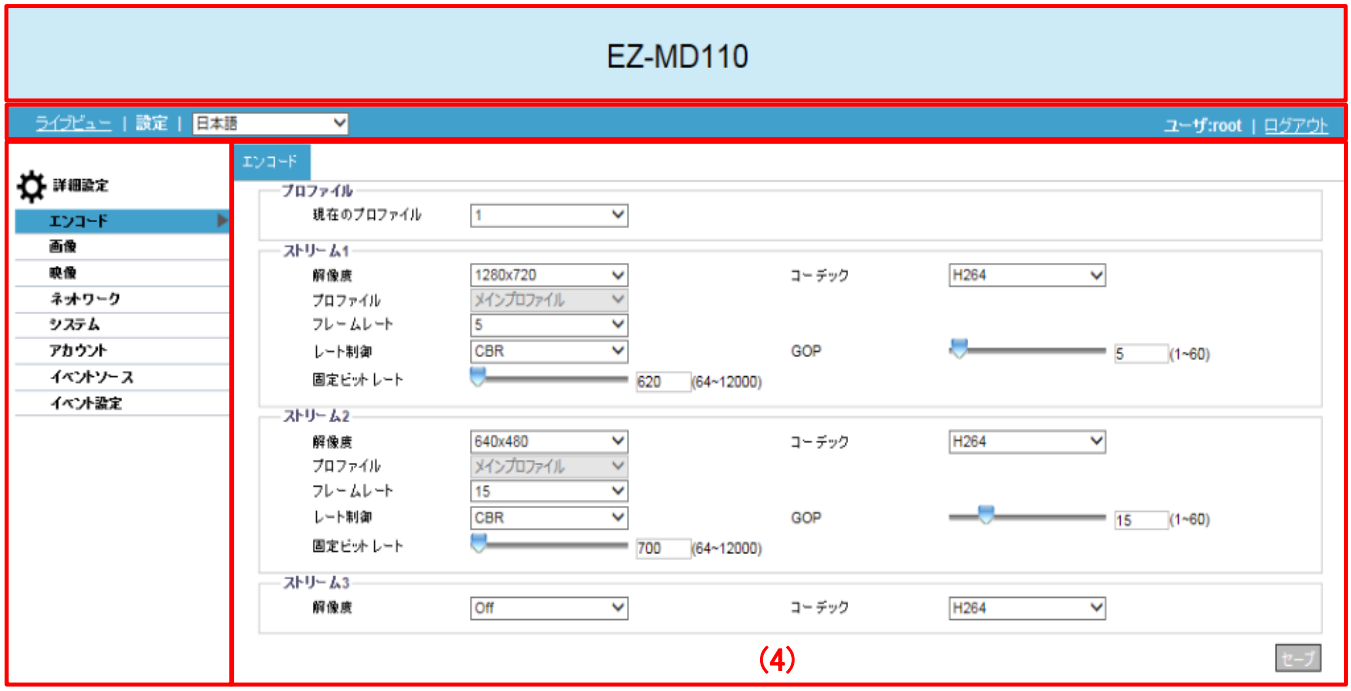
・パスワードを変更した場合は、必ずネットワークレコーダー側のアカウント（ID/パスワード）も合わせて変更してください。

・ネットワークレコーダーに複数の EZ シリーズを接続する場合、全ての EZ シリーズのユーザ名／パスワードを統一する必要があります。

・ネットワークレコーダーの取扱説明書および EZ シリーズ　取扱説明書　設置編をご覧ください。

3. 映像表示と各種設定

認証に成功すると、WEB 設定ツール画面が表示されます。
画面は次の4つのブロックで構成されています。



（1）型式名

本ソフトウェアに接続されている EZ シリーズの型式名が表示されます。

（2）ツールバー

ライブビュー、設定、使用する言語を選択できます。またログアウトが実行できます。

（3）メニューエリア

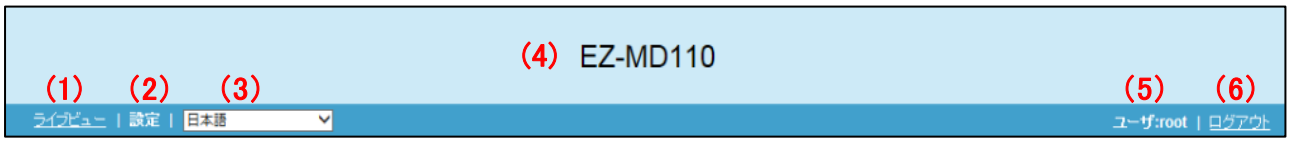
ツールバーで選択した、ライブビューと設定に関するメニューを表示します。

（4）メインエリア

メニューエリアで選択したメニューの内容を表示します。

3.1　ツールバー　　全モデル共通設定

ツールバーの構成は次のようになっています。



(1)ライブビュー

[ライブビュー] をクリックすると、メニューエリアに映像表示メニュー、メインエリアにストリーム映像が表示されます。映像を表示するためには、映像表示用のソフトウェアをパソコンにインストールする必要があります。

詳しくは、3.2 項　映像表示用ソフトウェア(⇒P.8)をご覧ください。

(2)設定

[設定] をクリックすると、メニューエリアに設定メニュー、メインエリアに設定内容が表示されます。

(3)言語切替

設定値 ： 日本語(初期値) ： English

表示される言語を選択できます。

(4)モデル名

モデル名が表示されます。

(5)ユーザ

現在ログインしているユーザ名が表示されます。

(6)ログアウト

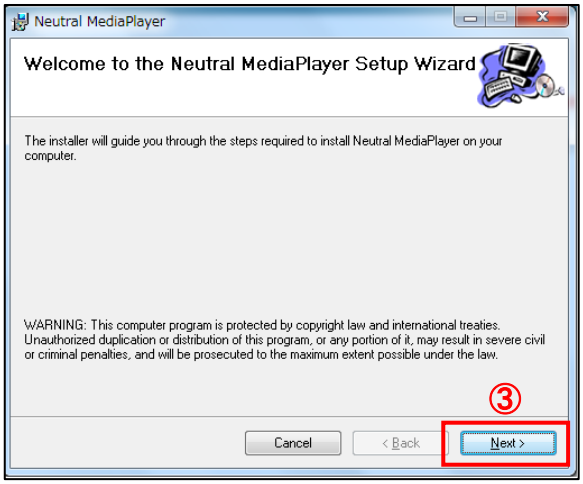
[ログアウト] をクリックすると、ログイン画面に戻ります。

3.2　映像表示用ソフトウェア　全モデル共通設定

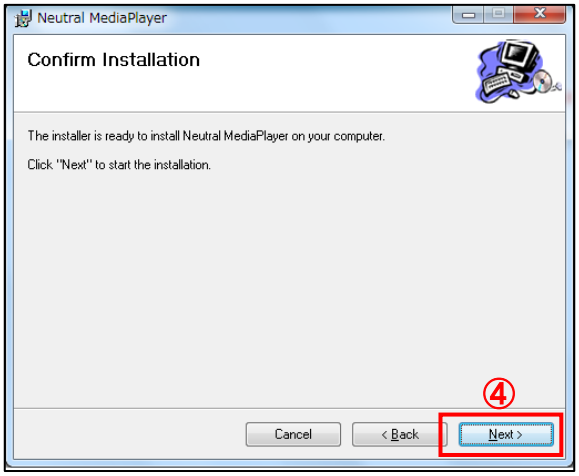
パソコン上で EZ シリーズのストリーム映像を表示するためには、パソコンに「映像表示用ソフトウェア：Neutral Media Player」をインストールする必要があります。
Neutral Media Player は本ソフトウェアから EZ シリーズにアクセスし、ライブビュー画面からダウンロード、インストールしてください。

①ツールバーの［ライブビュー］をクリックすると下のダウンロード画面が表示されます。
②[こちら] をクリックします。
画面の下部に「Neutral.msi を実行または保存しますか？」と表示されるので［実行］をクリックします。
続いて「Neutral.msi のダウンロードが完了しました。」と表示されるので［実行］をクリックします。

③セットアップウィザードの画面が表示されたら［Next>］をクリックします。



④インストール確認画面が表示されたら［Next>］をクリックします。



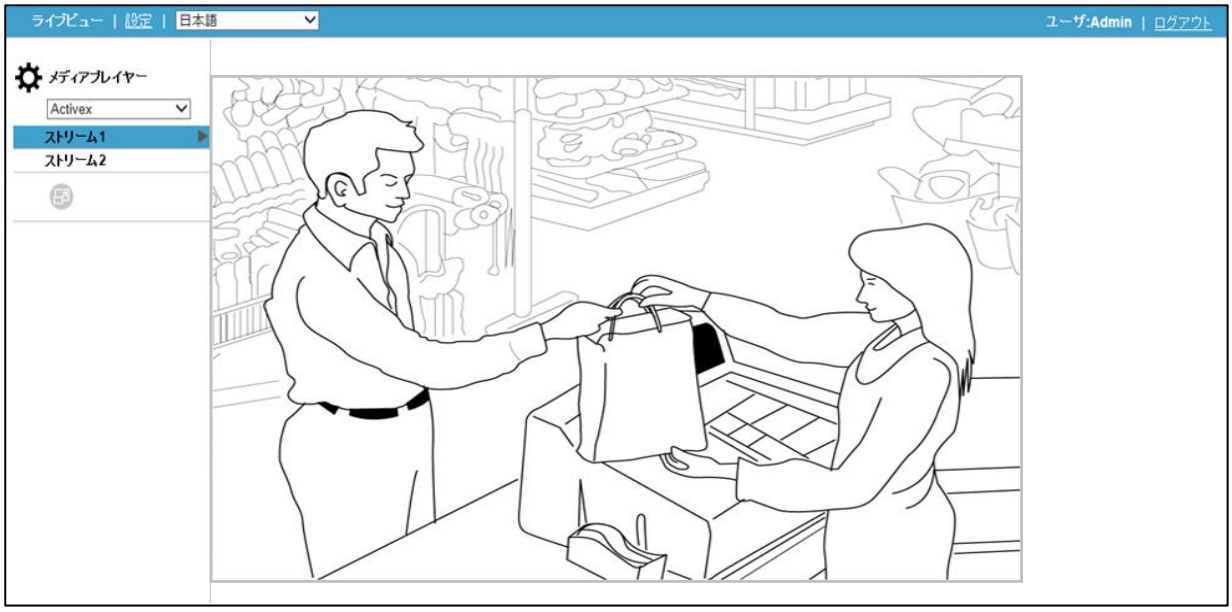
⑤インストールが開始されます。
⑥インストールが終了すると完了画面が表示されますので［Close］をクリックします。
⑦[ログアウト］をクリックして、再びログインします。

お知らせ

Neutral Media Player をパソコンからアンインストールする場合は次の手順で行います。
アンインストールは Internet Explorer を閉じた状態で行ってください。
①パソコンの［コントロール パネル］を開きます。
②[プログラム] – [プラグラムのアンインストール］を開きます。
③プラグラムの一覧が表示されますので［Neutral MediaPlayer］をクリックします。
④[アンインストール］をクリックします。
⑤「Neutral Mediaplayer をアンインストールしますか？」と表示されるので、［はい(Y)］をクリックすると、アンインストールが実行されます。

3.3　ライブビュー　　全モデル共通設定

メニューエリアに映像表示メニュー、メインエリアにストリーム映像を表示します。



（1）メディアプレイヤー

設定値 ： Activex（初期値） / JPEG / QuickView

表示するストリーム映像のデータ圧縮形式を選択できます。

Activex は、3.4.1 エンコード(⇒P.11)の設定で表示されます。

JPEG、QuickView は、エンコード の設定に関係なく、固定値で表示されます。

QuickView は、3.4.4 ネットワーク HTTP ポート設定(⇒P.24)のポートを使用した JPEG 配信です。

解像度は 640 x 360、フレームレートと画質は EZ シリーズの使用状況により変動します。

お知らせ

・[QuickView]はネットワークレコーダー DS-NR108 シリーズの WAN ポートを経由して本画面を開く場合に使用してください。

・[QuickView]を選択しても映像が表示されない場合、ストリーム 1、ストリーム 2 の解像度、フレームレート、ビットレートを下げて使用してください。

（2）ストリーム

メインエリアに表示する映像のストリームが1～3より選択できます。

お知らせ

・[メディアプレイヤー] で [Activex] を選択したときのみ表示されます。

・[設定] – [エンコード] – [ストリーム] – [解像度] で [Off] に設定しているストリームは選択できません。

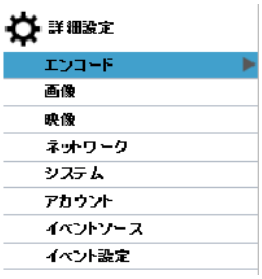
（3） フルスクリーンボタン

[メディアプレイヤー] で [Activex] を選択したときに、このボタンをクリックすると、ストリーム映像がフルスクリーンで表示されます。

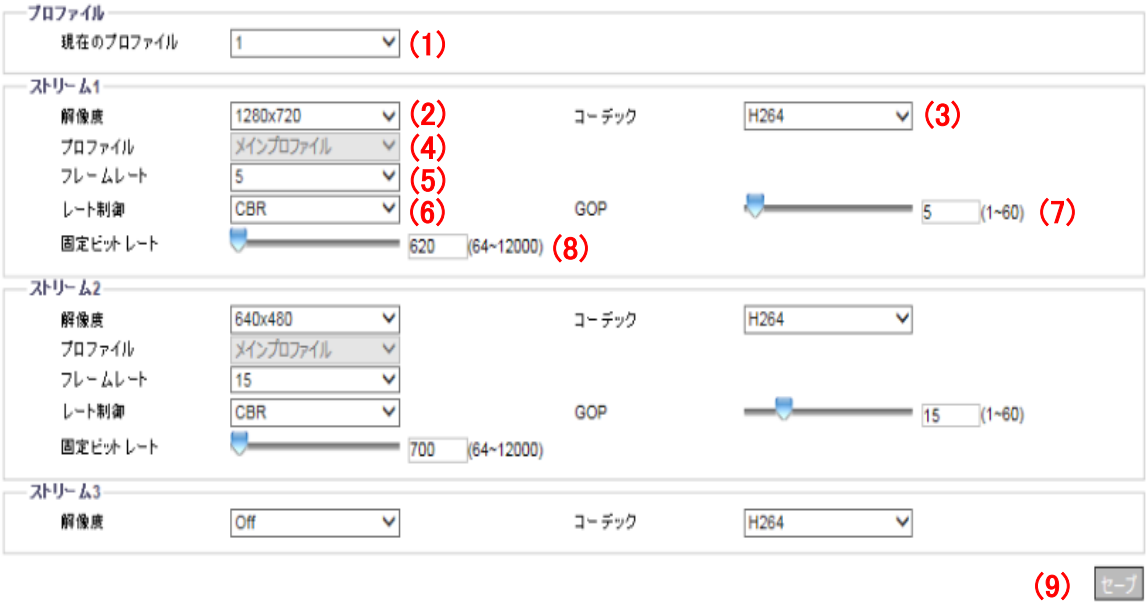
フルスクリーン表示を戻す場合は、パソコンの [Esc] キーを押すか、マウスの右クリックで [通常画面] をクリックしてください。

3.4　設定　　モデル別設定

ツールバーの[設定] をクリックすると、メニューエリアに詳細設定メニューが表示され、EZ シリーズの各種設定を行うことができます。



3.4.1　エンコード　　モデル別設定



【プロファイル】

（1）現在のプロファイル

全モデル共通

設定値 ： 1（初期値） / 2 / 3

プロファイル1～3に、用途に応じた異なるストリーム設定を保存することができます。

プロファイルのいずれを選択して、ストリーム設定を変更し、[セーブ] ボタンをクリックします。

続いて [ライブビュー] をクリックすると、現在のプロファイルに保存されたストリーム設定で映像が表示されます。プロファイル1～3の各ストリーム設定は、すべて同じ初期値になっています。

【ストリーム】

（2）解像度

EZ-CB120　EZ-CB120LE　EZ-CD120　EZ-CD120LE

設定値 ： 1920 x 1080 (FHD) / 1280 x 960 (SXVGA) / 1280 x 720 (HD) / 704 x 480(D1)
/ 640 x 480 (VGA) / 640 x 360 (HVGAW) / 352 x 240(SIF) / 320 x 240 (Q-VGA) / Off

EZ-MD110

設定値 ： 1280 x 960 (SXVGA) / 1280 x 720 (HD) /
/ 640 x 480 (VGA) / 640 x 360 (HVGAW) / 320 x 240 (Q-VGA) / Off

ストリームの解像度を選択できます。
ストリーム 1 の初期値は 1280 x 720 (HD)、
ストリーム 2 の初期値は 640 x 480 (VGA)、
ストリーム 3 の初期値は Offです。

お知らせ

・ネットワークレコーダー接続時、ストリーム1は記録用ストリーム、ストリーム2はライブ用ストリームに割りあてられます。そのため、ストリーム1とストリーム2は[Off] にしないでください。
・ネットワークレコーダー接続時は、ネットワークレコーダーの設定が優先されますので、ネットワークレコーダー側で設定してください。
・解像度設定を変更した場合、設定変更が完了するのを待つために、一時的にストリームの配信が途切れます。
・ネットワークレコーダー DS-NR1000 シリーズと接続して、モニター画面を「自動切替」設定で運用される場合は、切替間隔を[10 秒]に設定してください。
設定方法などの詳細については、DS-NR1000 シリーズの取扱説明書をご確認下さい。

（3）コーデック

全モデル共通

設定値 ： H264（初期値） / MJPEG

H264（H.264） は、少ないデータサイズで動画を効率よく伝送できる動画圧縮方式です。情報量の多い映像を配信する場合や動きの少ない動画を配信する場合に適しています。
MJPEG は、フレームごとに JPEG 画像として圧縮するため、静止画としての取り扱う場合や、動きの多い動画を配信する場合に適しています。MJPEG は、H264（H.264）と比較するとデータサイズが大きくなります。

（4）プロファイル

全モデル共通

設定値 ： メインプロファイル（固定）

H.264 コーデックはメインプロファイルを使用します。

(5)フレームレート

全モデル共通

設定値 ： 1～30fps(電源周波数:60Hz 時)、1～25fps(電源周波数:50Hz 時)

ストリーム1 フレームレートの初期値は 5fps

ストリーム2 フレームレートの初期値は 15fps

ストリーム3 フレームレートの初期値は Off（解像度が Off のため設定項目が表示されません）

お知らせ

・電源周波数は、設置する地域にあわせて設定します。
詳しくは、3.4.5 項 システム ■初期化タブ(1)電源周波数(⇒P.30)をご覧ください。

・ネットワークレコーダー接続時は、ネットワークレコーダーの設定が優先されますので、ネットワークレコーダー側で設定してください。

(6)レート制御 (コーデック［H264］選択時のみ)

全モデル共通

設定値 ： CBR(初期値) / VBR / CVBR

ビットレートの制御モードを選択します。

CBR は、[固定ビットレート］で設定したビットレートで制御します。

VBR は、被写体の動きに応じてビットレートを可変させて制御します。

CVBR は、一度画像ファイル全体のデータ解析をして平均のビットレートで制御します。

お知らせ

・VBR は CBR に比べてデータサイズを抑えられますが、動きが少ない被写体では画質が低下することがあります。

・CVBR は CBR に比べてデータサイズを抑えられますが、データ処理に時間がかかるため、動きが速い被写体では画質が低下することがあります。

・ネットワークレコーダー接続時は CBR を設定してください。

(7)GOP (Group Of Pictures)

全モデル共通

設定値 ： 1～60

ストリーム1 GOP の初期値は 5

ストリーム2 GOP の初期値は 15

ストリーム3 GOP の初期値は Off（解像度が Off のため設定項目が表示されません）

数値が小さいと Ｉフレーム間隔が狭くなり画質がよくなりますが、データサイズが大きくなります。

数値が大きいと データサイズは小さくなりますが、動きのある被写体では画質が低下します。

お知らせ

・GOP はフレームレートと同じ値をお奨めします。
例： フレームレート 5fps ➔ GOP は 5、 15fps ➔ GOP は 15

・ネットワークレコーダー接続時は、本画面で GOP 設定を行わないでください。DS-NR108 シリーズとの接続の場合、録画画面やカメラストリームパネルから変更してください。DS-NR1000 シリーズとの接続の場合、レコーダが自動的に設定を行いますので、設定することはできません。

（8）固定ビットレート　（コーデック［H264］－ レート制御［CBR］選択時のみ）

全モデル共通

設定値 ： 64～12000 kbps

ストリーム1 ビットレートの初期値は 620kbps

ストリーム2 ビットレートの初期値は 700kbps

ストリーム3 ビットレートの初期値は Off（解像度が Off のため設定項目が表示されません）

ビットレート値が高いと、画質が上がり鮮明な映像になりますが、データサイズは大きくなります。

ビットレート値が低いと、粗い映像となり画質は下がりますが、データサイズは小さくなります。

お知らせ

・コーデック［H264］－ レート制御［CVBR］選択時のみ

最大ビットレートの設定値 ： 64～4000（初期値）～12000 kbps

・コーデック［H264］－ レート制御［VBR］選択時のみ

品質レベルの設定値 ： 1～6（初期値）～10

値が高いと、画質が上がり鮮明な映像になりますが、データサイズは大きくなります。

値が低いと、粗い映像となり画質は下がりますが、データサイズは小さくなります。

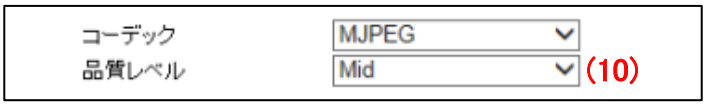
・ネットワークレコーダー接続時は、ネットワークレコーダーの設定が優先されますので、ネットワークレコーダー側で設定してください。

（9）セーブ

全モデル共通

EZ シリーズに設定を保存する場合は、［セーブ］ボタンをクリックします。

［セーブ］ボタンをクリックせずに、ほかの画面に移動した場合、設定は保存されません。



（10）品質レベル （コーデック［MJPEG］選択時のみ）

全モデル共通

設定値 ： Low / Mid（初期値） / High

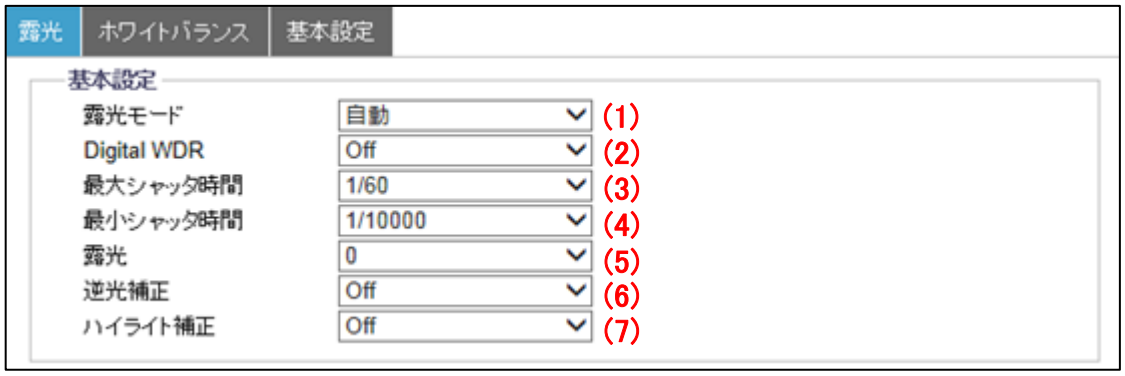
ストリーム映像の画質を選択できます。

［High］を選択すると、鮮明な映像を配信できますが、その分データサイズは大きくなります。

［Low］を選択すると、データサイズが小さい映像を配信できますが、その分映像は粗くなります。

3.4.2　画像　　モデル別設定

■露光 タブ



【基本設定】

（1）露光モード

全モデル共通

設定値 ： 自動（初期値） / フリッカーレス / シャッター優先 / マニュアル

自動　　：被写体の動きや設置場所、照明環境にあわせて自動的にシャッタ時間を制御します。
シャッタ時間は、最大シャッタ時間～最小シャッタ時間までの間で変化します。

フリッカーレス　：このモードは使用しないでください。

シャッター優先　：選択したシャッタ時間に固定することができます。

マニュアル　　：ゲインとシャッタ時間の両方を手動で制御できます。

お知らせ

・蛍光灯や LED 照明など電源周波数に同期して発光している照明下では、画面がちらつく現象（フリッカー）が強調されやすくなりますので、次のように設定してください。

①露光モードを自動に設定します。
②設置する地域の電源周波数（60Hz/50Hz）を確認して、EZ シリーズの電源周波数を設定します。
③最大シャッタ時間を 1/60（60Hz 時）あるいは 1/50（50Hz 時）に設定します。
④最小シャッタ時間を 1/10000 に設定します。

・ネットワークレコーダー接続時、ネットワークレコーダーの露光設定メニューから一括で下記を設定することができます。

1/30、1/60、1/100　⇒設定できません。
AE　　⇒露光：自動、電源周波数：60Hz、シャッタ時間：1/60～1/10000 で設定します。
50HzFIXED　⇒露光：自動、電源周波数：50Hz、シャッタ時間：1/50～1/10000 で設定します。
60HzFIXED　⇒露光：自動、電源周波数：60Hz、シャッタ時間：1/60～1/10000 で設定します。

AE / 50HzFIXED / 60HzFIXED の設定を変更すると、カメラが再起動します。
再起動が完了するまで、2 分程度 記録が停止します。

（2）Digital WDR

全モデル共通

設定値 ： Off（初期値） / Low / Mid / High

コントラスト差が大きい被写体を撮影する場合、一部が暗すぎて黒つぶれしないように、または明るすぎて白飛びしないように補正します。

Low → Mid → High で黒つぶれの補正が少しずつ強くなりますが、白飛びも発生しやすくなります。

（3）最大シャッタ時間　（露光モード［自動］選択時のみ）

全モデル共通

設定値 ： 1/7.5～1/60（電源周波数：60Hz 時）、1/6.25～1/50（電源周波数：50Hz 時）

電源周波数　60Hz 時の最大シャッタ時間の初期値は 1/60

電源周波数　50Hz 時の最大シャッタ時間の初期値は 1/50

自動制御するシャッタ時間の最大値を設定します。

最大シャッタ時間の値が大きいと、暗い場所でも映像が明るくなりますが、動きに追従しにくくなります。

（4）最小シャッタ時間　（露光モード［自動］選択時のみ）

全モデル共通

設定値 ： 1/120～1/10000（電源周波数：60Hz 時）、1/100～1/10000（電源周波数：50Hz 時）

電源周波数　60Hz 時の最小シャッタ時間の初期値は 1/10000

電源周波数　50Hz 時の最小シャッタ時間の初期値は 1/10000

自動制御するシャッタ時間の最小値を設定します。

最小シャッタ時間の値が小さいと、明るい場所で追従しやすくなりますが、映像が暗くなります。

ご注意

・最小シャッタ時間は 1/10000（初期値）でお使いください。
屋外や、室内であっても太陽光が入りやすい明るい環境に設置した場合、最小シャッタ時間を 1/120 や 1/200 程度に設定していると、白飛びがおこりやすくなります。

お知らせ

・ネットワークレコーダーの露光設定メニューで、フリッカーレス設定（50HzFIXED、60HzFIXED）を設定しても、太陽光などの明るい外光が入る設置環境では、シャッタ時間が自動で変化して 1/200、1/250 になり、フリッカーが見えることがあります。

（5）露光　（露光モード［マニュアル］以外を選択時のみ）

全モデル共通

設定値 ： -2～0（初期値）～2

値を小さくすると映像が暗くなり、大きくすると明るくなります。

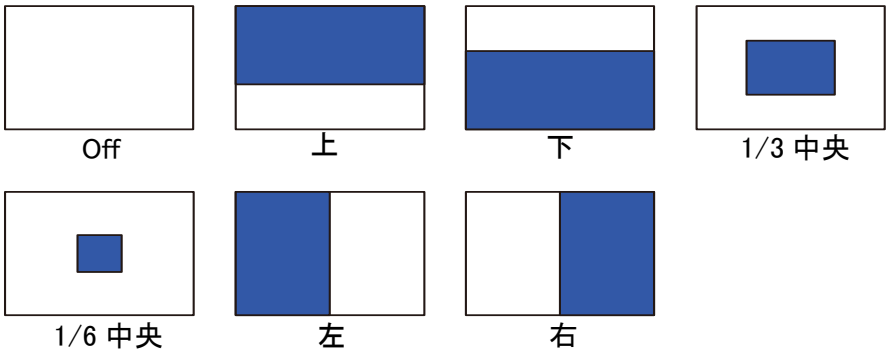
(6)逆光補正　(露光モード［マニュアル］以外を選択時のみ)

全モデル共通

設定値 ： Off(初期値) / 上 / 下 / 1/3 中央 / 1/6 中央 / 左 / 右

逆光補正は選択した領域の輝度で最適な画質レベルを実現する機能です。

領域内で表示したい物体の背後から強い光が入ることで被写体が黒つぶれしてしまう場合や、暗くなりすぎて見えにくい場合にこの機能が必要となります。逆光を補正したい領域は以下を参考にして設定します。



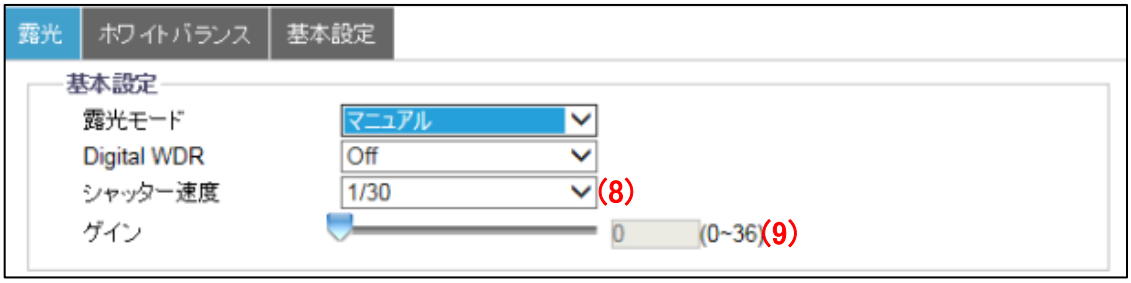
(7)ハイライト補正　(露光モード［マニュアル］以外を選択時のみ)

全モデル共通

設定値 ： Off(初期値) / On

映像内の強い光源を抑制する機能です。

夜間、車のヘッドライトによって認識しにくいナンバープレートなどを認識しやすくします。



(8)シャッター速度　(露光モード［シャッター優先］［マニュアル］選択時のみ)

全モデル共通

設定値 ： 1/30～1/10000(電源周波数:60Hz 時)、1/25～1/10000(電源周波数:50Hz 時)

電源周波数　60Hz 時のシャッター速度の初期値は 1/30、

電源周波数　50Hz 時のシャッター速度の初期値は 1/25 です。

シャッター速度を固定します。

値が大きいと映像が明るくなりますが、動きに追従しにくくなります。

値が小さいと映像は暗くなりますが、動きに追従しやすくなります。

(9)ゲイン　(露光モード［マニュアル］選択時のみ)

全モデル共通

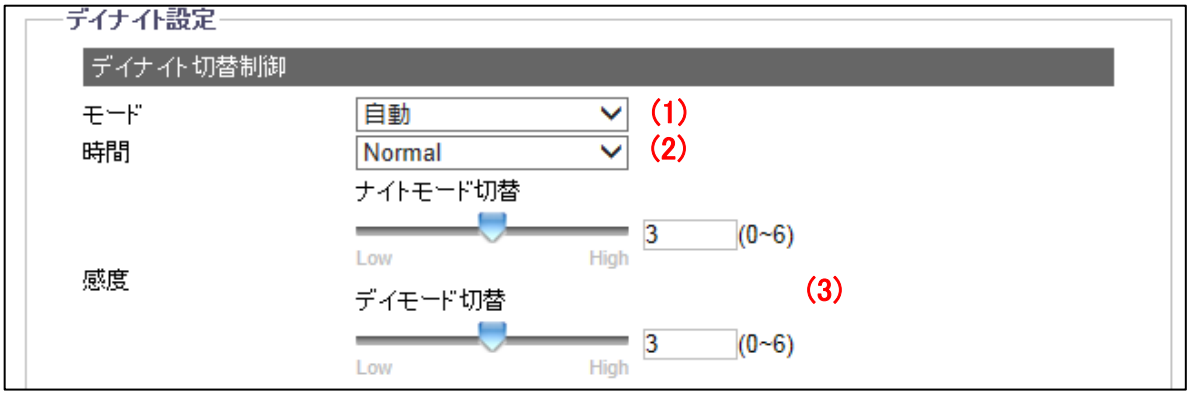
設定値 ： 0(初期値)～36

ゲイン値を固定します。

値が大きいほど映像は明るく表示されますが、ノイズが多くなります。

シャッター速度の値を大きくしても映像の明るさが足りない場合にゲイン値を大きくします。

【デイナイト設定】



(1)デイナイト切替制御 - モード

EZ-CB120LE　EZ-CD120LE

設定値 : 自動(初期値) / カラー / モノクロ

EZ-CB120　EZ-CD120　EZ-MD110

設定値 : カラー(初期値) / モノクロ

自動モードは撮影環境の明るさに応じて、カラーモードとモノクロモードを自動で切り替えます。
カラーモードは常にカラー撮影となり、モノクロモードは白黒撮影となります。
露光モードが［マニュアル］の場合には、［自動］は選択できません。

お知らせ
［モノクロ］から［自動］選択時、周囲の明るさに関係なく、一度カラーモードになります。
その後、周囲の明るさに応じて、自動でカラーモードとモノクロモードを切り替えます。

(2)デイナイト切替制御 - 時間　(デイナイト切替制御 - モード［自動］選択時のみ)

EZ-CB120LE　EZ-CD120LE

設定値 : Normal(初期値) / Fast / Slow

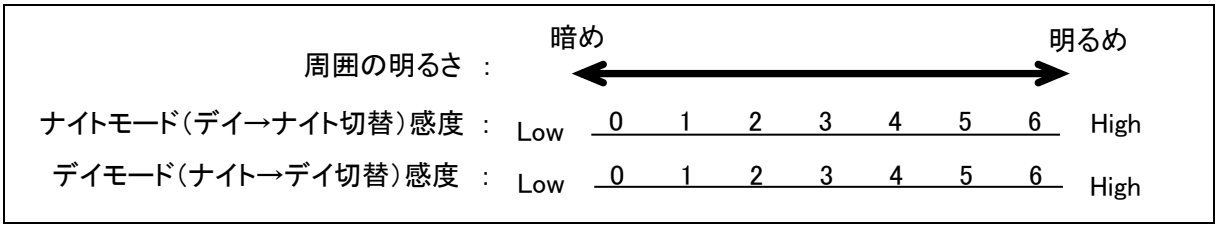
デイモードとナイトモードの切り替えの時間を設定します。
Fast は周囲環境の明るさに応じてほぼ遅延なくカラー／モノクロモードが切り替わります。
Slow は周囲環境の明るさを検知してから切り替えるまでの時間が長くなります。

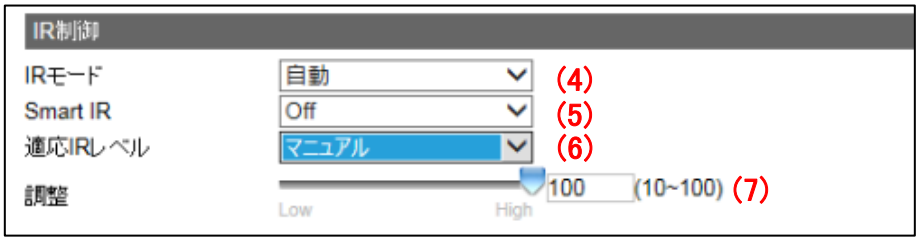
(3)デイナイト切替制御 - 感度　(デイナイト切替制御 - モード［自動］選択時のみ)

EZ-CB120LE　EZ-CD120LE

設定値 : 0～3(初期値)～6

ナイトモードとデイモードの切り替えの感度(明るさ)を設定できます。
周囲が明るめで切り替えたい場合には数値を大きくします(High 側)。
周囲が暗めで切り替えたい場合には数値を小さくします(Low 側)。





(4)IR 制御 – IR モード　（露光モード［マニュアル］以外を選択時のみ）

EZ-CB120LE　EZ-CD120LE

設定値 ： 自動（初期値） / On / Off

自動は、デイナイト機能にあわせて、IR-LED を自動的に点灯します（ナイトモード時のみ点灯）。

On は、IR-LED を常時点灯します。

Off は、IR-LED が常時消灯します。

ご注意

IR モードを［Off]に設定した場合は、ナイトモード時でも IR-LED は消灯したままとなります。

(5)IR 制御 – Smart IR　（露光モード［マニュアル］以外を選択時のみ）

EZ-CB120LE　EZ-CD120LE

設定値 ： Off（初期値） / On

Smart IR は、被写体に照射される IR-LED の強度を変化させ、白とびのような現象を軽減する機能です。

Smart IR を有効にする場合には［On］をクリックしてください。

お知らせ

Smart IR が有効になっている場合には「逆光補正」機能は無効になります。

(6)IR 制御 – 適応 IR レベル

EZ-CB120LE

設定値 ： 自動（初期値） / マニュアル

IR LED の光量を自動で制御する場合には［自動］を、手動でレベルを調整したい場合には[マニュアル］を選択してください。

(7)IR 制御 – 調整

EZ-CB120LE

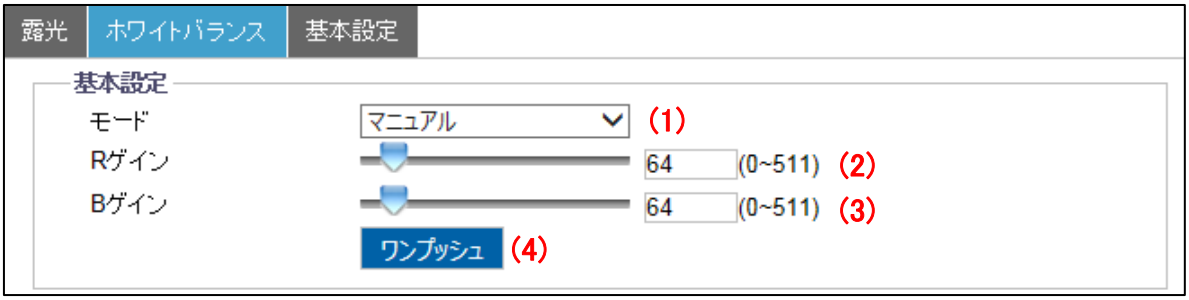
設定値 ： 10～100（初期値）

値を大きくすると、IR LED の光量が多く、

値を小さくすると、IR LED の光量が少なくなります。

■ホワイトバランス タブ

被写体を照らす光源（色調）にあわせて、ホワイトバランスを選択できます。



【基本設定】

（1）モード

全モデル共通

設定値 ： ATW（初期値） / 自動 / マニュアル

ATW ： ATW(Auto Tracing White Balance)では 2500～10000K の範囲で色合いを自動的に制御します。

自動 ： ATW より広い色温度の範囲で色合いを自動的に制御します。
水銀灯や、ナトリウム灯など特殊な光源下でご使用され、ATW モードで色合いが不自然な場合は自動モードをお試しください。

マニュアル ： 手動で R ゲイン／B ゲインを変更して色合いを調整できます。

（2）R ゲイン （ホワイトバランスモード［マニュアル］選択時のみ）

全モデル共通

設定値：0～64（初期値）～511

0～511 の範囲で映像内の赤味(Red)を調整できます。

（3）B ゲイン （ホワイトバランスモード［マニュアル］選択時のみ）

全モデル共通

設定値：0～64（初期値）～511

0～511 の範囲で映像内の青味(Blue)を調整できます。

（4）ワンプッシュ （ホワイトバランスモード［マニュアル］選択時のみ）

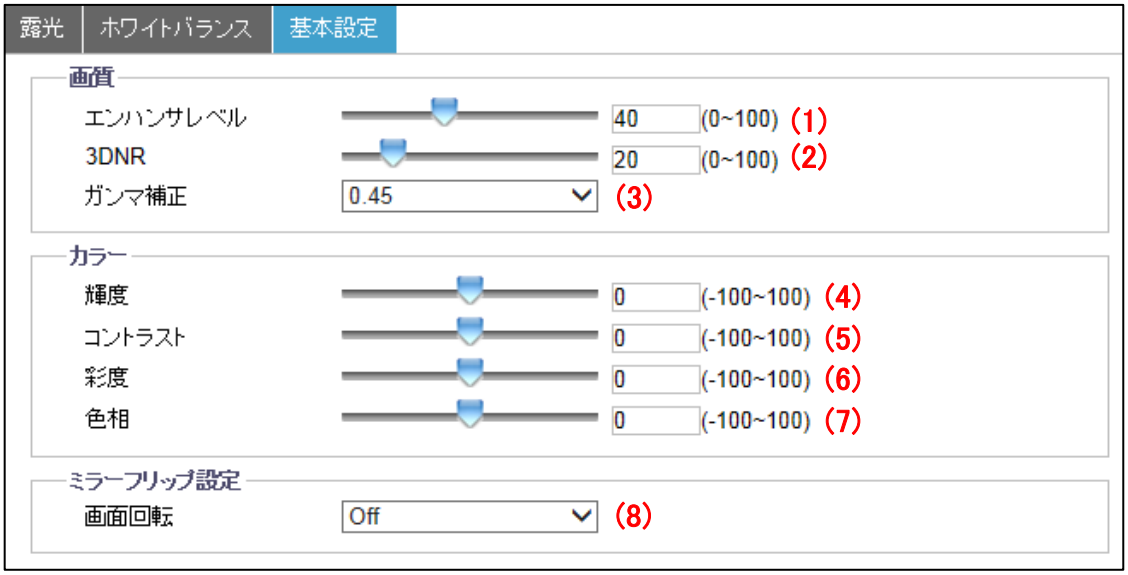
全モデル共通

使用する光源の下で、白い紙などを画面の半分以上撮影した状態で、［ワンプッシュ］をクリックするとホワイトバランスが調整されます。これと同時に R ゲイン、B ゲインに調整後の値が入力されます。

ご注意

アイボリー、薄い黄色、薄い水色などの淡い色をした床が、映像の約 70%を超える割合でお使いになった場合、色合いが不自然に見えることがあります。
できるだけ淡い色の割合を減らすように画角を調整してお使いください。
もし画角の調整ができない場合は、モードを［マニュアル］にしてください。
ただし、日中と夜間で照明環境が大きく異なる環境では、どちらかの環境で色合いが不自然に見える可能性があります。
そのようなときは、［ゲイン］を夜間での最適値と、日中での最適値の中間値に設定するか、もしくは、夜間と日中の優先度を考慮し、どちらかの最適値にあわせてお使いください。

■基本設定 タブ



【画質】

(1)エンハンサレベル

全モデル共通

設定値 ： 40(初期値)～100

映像信号の水平方向と垂直方向の輪郭の強度を調整できます。

値を大きくすると輪郭が強く表示され、値を小さくすると輪郭が弱く表示されます。

(2)3DNR

全モデル共通

設定値 ： 20(初期値)～100

暗い環境下などでは映像にノイズが増加することがあります。3DNR(3 次元ノイズ・リダクション)は、このノイズを低減できます。

値を大きくし過ぎた場合、ノイズは軽減されますが、動きが不自然に(残像などが)見えることがあります。

(3)ガンマ補正

全モデル共通

設定値 ： 0.45(初期値) / 1

ガンマ補正を設定します。モニタースクリーン上で正しく階調を表示するために、ガンマ補正が必要です。

補正が不要なモニターをご使用の場合は [1] を設定してください。

【カラー】

(4)輝度

全モデル共通

設定値 ： −100～0(初期値)～100

輝度を設定します。

値を大きくすると映像の輝度が高くなり、値を小さくすると映像の輝度が低くなります。

（5）コントラスト

全モデル共通

設定値 ： −100～0（初期値）～100

コントラストを設定します。

値を大きくすると映像のコントラストが高くなり、値を小さくすると映像のコントラストが低くなります。

（6）彩度

全モデル共通

設定値 ： −100～0（初期値）～100

彩度を設定します。

値を大きくすると映像の色が深みを増し、色がより鮮やかになります。

値を小さくすると映像の色がグレースケール（モノクロ）映像に近くなります。

（7）色相

全モデル共通

設定値 ： −100～0（初期値）～100

色相をお好みの色に設定します。

値を大きくすると、たとえば赤色がマゼンタ色になり、値を小さくすると赤色がオレンジ色になります。

【ミラーフリップ設定】

（8）画面回転

全モデル共通

設定値 ： Off（初期値） / 反転 / ミラー / 上下左右反転

映像の左右や上下もしくは両方を反転させます。

反転 を選択すると、映像を上下反転します。

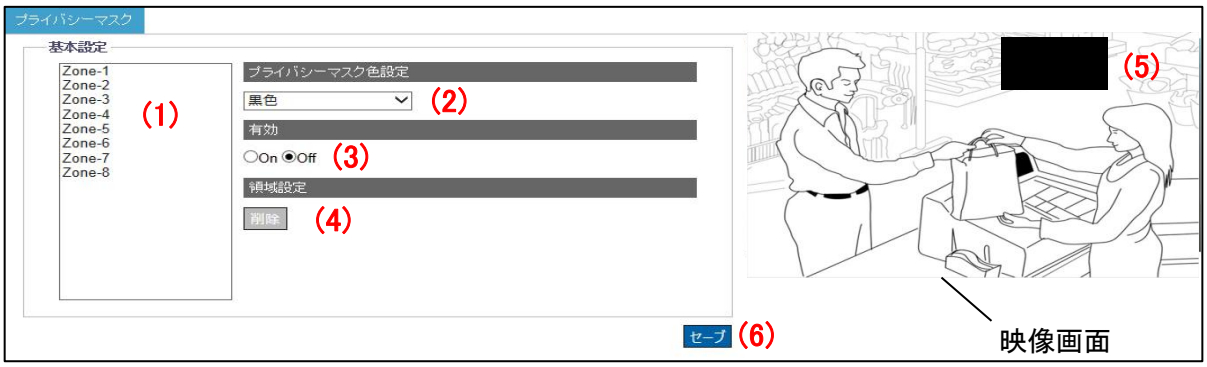
ミラー を選択すると、映像を左右反転します。

上下左右反転 を選択すると、映像を上下左右反転します。

3.4.3　映像　　全モデル共通設定

■プライバシーマスク タブ

プライバシーの保護を目的として、映像の指定領域に塗りつぶしを設定できます。プライバシーマスクの設定は、メインエリアのスクリーン上でマウス操作により指定できます。最大 8 個の領域を設定することができます。



(1)プライバシーマスク選択

Zone-1～Zone-8、いずれかのプライバシーマスクを選択します。

(2)プライバシーマスク色設定

設定値 ： 黒色(初期値) / 灰色 / 白色

マスクの色を選択します。すべてのマスクが同じ色になります。

(3)有効

設定値 ： On / Off(初期値)

[On] をクリックするとすべての Zone のプライバシーマスクが有効になります。

[Off] をクリックするとすべての Zone のプライバシーマスクが無効になります。

(4)削除

(1)プライバシーマスク選択で選択したプライバシーマスクを削除します。

(5)プライバシーマスク

スクリーン上で、マウス操作によりプライバシーマスクの領域を指定します。

プライバシーマスクが有効に設定されると半透明の青色から濃い青色に変化します。

(6)セーブ

[セーブ] をクリックすると、プライバシーマスクの設定が保存されます。

ご注意

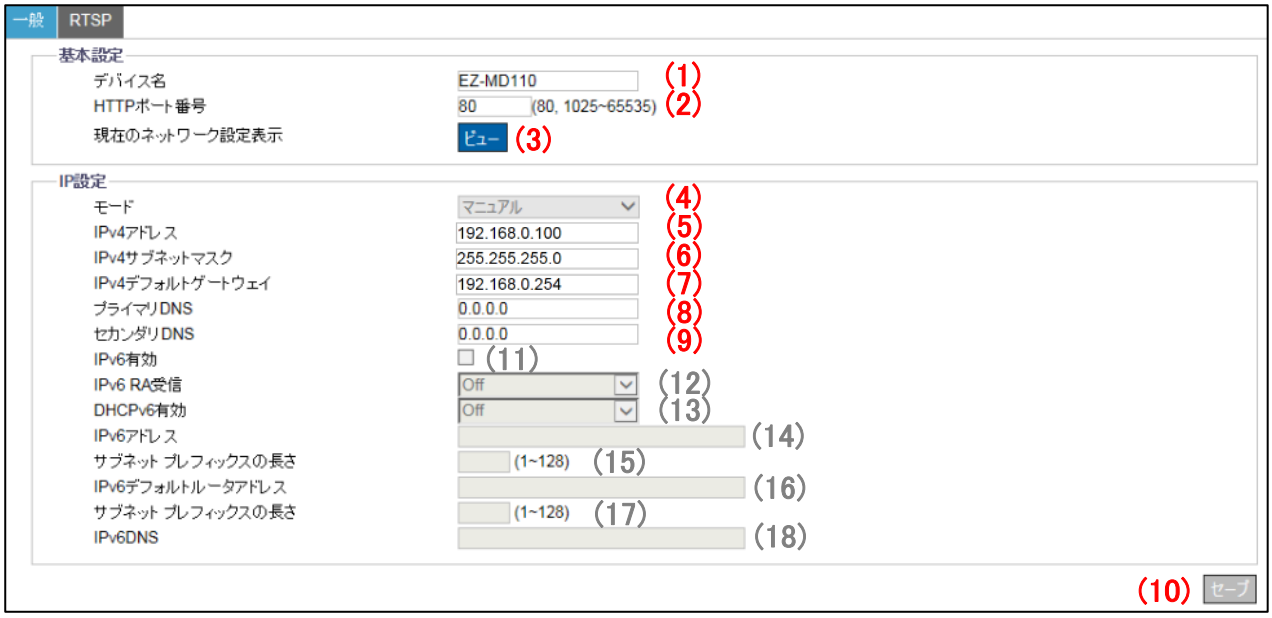
・映像画面上、マスクしたい領域よりも少し大きいサイズでプライバシーマスクを設定してください。

・プライバシーマスクを設定してセーブした後、映像画面上でプライバシーマスク以外の映像をクリックすると、設定したプライバシーマスクが映像画面上から消えます。その状態で[セーブ]をクリックするとプライバシーマスクが削除されますのでご注意ください。

・2 つ以上のプライバシーマスクを設定した状態で、選択中のプライバシーマスクに対して、有効を Off にして[セーブ]をクリックすると、選択されていないプライバシーマスクも無効となります。有効 On/Off はすべての Zone に適用されますので、ご注意ください。

3.4.4　ネットワーク　　全モデル共通設定

ネットワーク状態に関する詳細な設定を行うことができます。



■一般 タブ

【基本設定】

（1）デバイス名

希望するカメラ名を設定することができます。初期値は型式名になっています。

> **お知らせ**
> 半角英数字と、「-」、「.」のみ入力可能です。

（2）HTTP ポート番号

設定値 ： 80（初期値）、1025～65535

EZ シリーズと HTTP で通信する際のポート番号を設定します。通常は［80］でご使用ください。

（3）現在のネットワーク設定表示

［ビュー］をクリックすると、EZ シリーズのネットワークインターフェース情報が表示されます。

【IP 設定】

(4)モード

設定値 ： マニュアル（固定）

マニュアルに固定されています。

（5）IPv4 アドレス

設定値 ： 192.168.0.100（初期値）

EZ シリーズの IP アドレスを任意に設定します。

（6）IPv4 サブネットマスク

設定値 ： 255.255.255.0 （初期値）

EZ シリーズのサブネットマスクを任意に設定します。

（7）IPv4 デフォルトゲートウェイ

設定値：192.168.0.254（初期値）

EZ シリーズのデフォルトゲートウェイを任意に設定します。

（8）プライマリ DNS

設定値：0.0.0.0（初期値）

EZ シリーズのプライマリ DNS を任意に設定します。

（9）セカンダリ DNS

設定値：0.0.0.0（初期値）

EZ シリーズのセカンダリ DNS を任意に設定します。

（10）セーブ

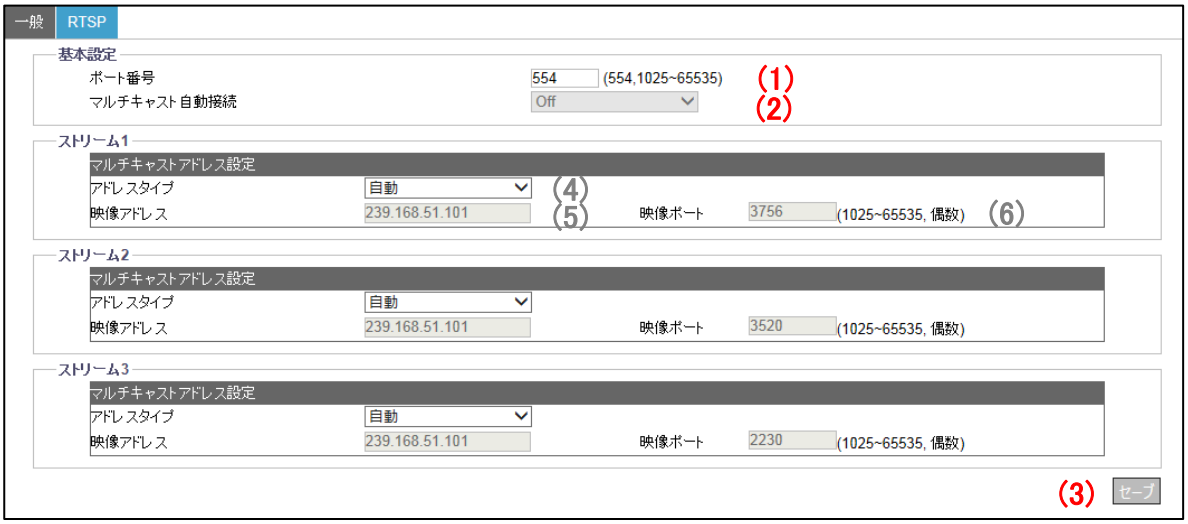
［セーブ］ をクリックすると、ネットワークの設定が保存されます。

お知らせ

（11）IPv6 有効～（18）IPv6DNS は、EZ シリーズでは使用できません。

■RTSP タブ

RTSP はストリーミングデータを制御するために使用するプロトコルです。
本ソフトウェア以外のソフトウェアを通じて、動画ストリームを取得することができます。



【基本設定】

(1)ポート番号
設定値 ： 554(初期値),1025～65535
RTSP に使用するポート番号を設定できます。

(2)マルチキャスト自動接続
設定値 ： Off （固定）
マルチキャスト機能は Off 固定となります。

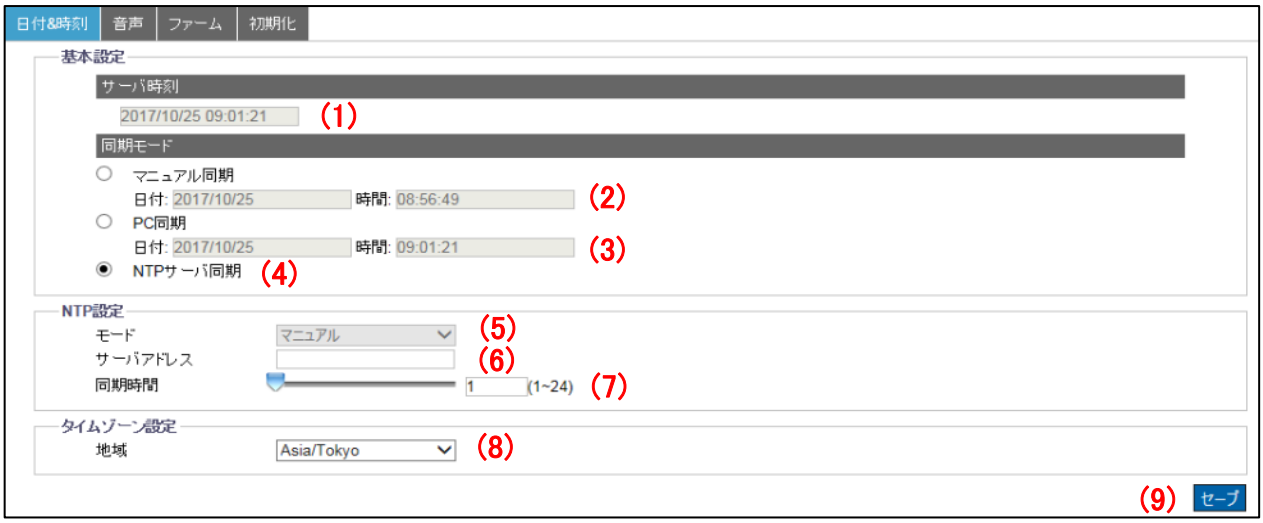
(3)セーブ
[セーブ] をクリックすると、RTSP の設定が保存されます。

お知らせ

・(4)アドレスタイプ～(6)映像ポートは、EZ シリーズでは使用できません。
・本ソフトウェア以外のソフトウェアを通じて RTSP ストリーミングする場合は、以下の
ユニキャスト用 URL を指定してください。
・rtsp://(camera IP address)/stream 1
・rtsp://(camera IP address)/stream 2
・rtsp://(camera IP address)/stream 3
例: rtsp://192.168.0.100/stream1

3.4.5　システム　　モデル別設定

■日付&時刻　タブ



【基本設定】

（1）サーバ時刻

全モデル共通

現在の EZ シリーズ内部時刻が表示されます。

> **ご注意**
> EZ シリーズを再起動すると、時刻は初期化されます。

（2）同期モード　－　マニュアル同期

全モデル共通

手動で EZ シリーズ内部時刻を設定します。

（3）同期モード　－ PC 同期

全モデル共通

本ソフトウェアを開いているパソコンの時刻にあわせて、EZ シリーズの内部時刻を同期します。

（4）同期モード　－ NTP サーバ同期

全モデル共通

設定した NTP サーバにあわせて、EZ シリーズ内部時刻を同期します。

【NTP 設定】　（同期モード［NTP サーバ同期］選択時のみ）

（5）モード

全モデル共通

設定値　：　マニュアル（固定）

マニュアルで固定されています。

（6）サーバアドレス

全モデル共通

NTP サーバの IP アドレスを任意に設定します。

(7)同期時間

全モデル共通

設定値 ： 1(初期値)～24

NTP サーバと同期する時間(間隔)を設定します。

【タイムゾーン設定】

(8)地域

全モデル共通

所在国／地域を選択します。NTP サーバのタイムゾーンにあわせて設定してください。

(9)セーブ

全モデル共通

[セーブ] をクリックすると、日付＆時刻の設定が保存されます。

■音声 タブ

EZ シリーズに接続された外部マイクから入力された音声を、音声データとしてネットワークレコーダーに配信することができます。

外部マイクは、日立ヘッドアンプ付コンデンサマイクロフォン VT-EM10(ライン入力)をご使用ください。マイクレベルの外部マイクには対応していません(音声が非常に小さく、聞きとることができません)。また本ソフトウェアで音声を確認することはできません。ネットワークレコーダーの音声出力にて確認してください。

【音声入力設定】

(1)有効

EZ-MD110

設定値 ： On(初期値) / Off

音声入力を On(有効)にするか Off(無効)にするかを設定します。

On にしても外部マイクを接続していない場合は、Off と同じになります。

(2)エンコード

EZ-MD110

設定値 ： G.726 32kbps(初期値) / G.726 24kbps / G.726 16kbps / G.711 a-law / G.711 μ-law

音声の圧縮方式とビットレートを設定します。通常は G.726 でお使いください。G.711 は EZ シリーズとネットワークレコーダーが ONVIF にて接続されているとき有効となります。

ビットレートは数値が大きいほど高音質な音声を配信できますが、その分データ量は大きくなります。

数値が小さいほど、データ量は少なくなりますが、その分音質は低くなります。

ONVIF にて接続されている場合、G.711 μ-law(日本、北米で使用)を選択してください。

G.711 a-law(欧州で使用)は使用しないでください。

（3）レベル

EZ-MD110

設定値 ： Low / Mid（初期値） / High

音声入力の音量を選択できます。

ネットワークレコーダーの音声出力で音量を確認してください。

（4）セーブ

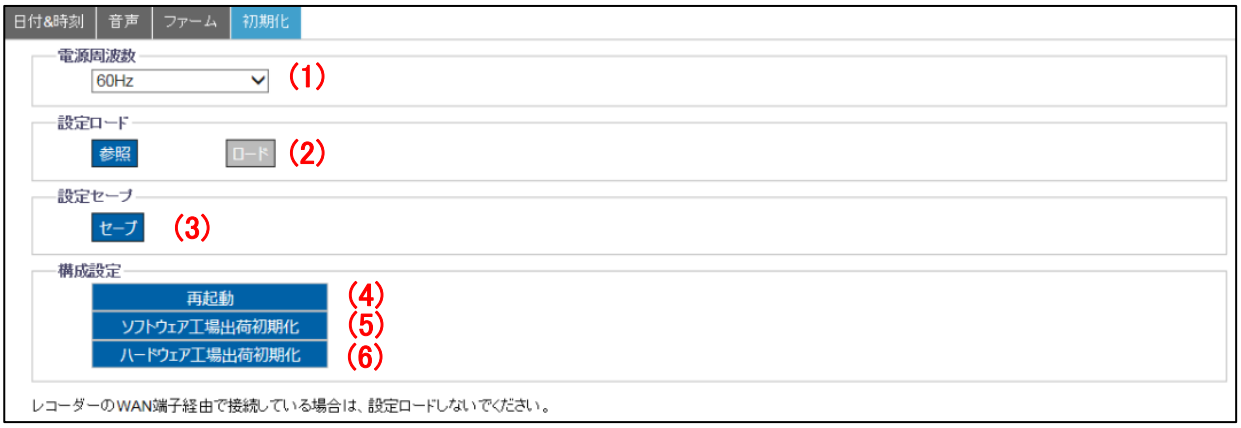
EZ-MD110

［セーブ］をクリックすると、音声入力の設定が保存されます。

■ファーム タブ

本メニューは、保守員がメンテナンスを行うためのメニューであり、ご使用できません。

■初期化 タブ



【電源周波数】

(1)電源周波数

全モデル共通

設定値 ： 60Hz(初期値) / 50Hz

映像のちらつき(フリッカー)が発生していないときは、初期値のままで変更する必要はありません。

映像のちらつきが発生しているときのみ、設置する地域の電源周波数をご確認のうえ、[60Hz] もしくは [50Hz] を選択してください。

電源周波数を変更すると、『カメラを再起動します。よろしいですか？』と表示されますので、[OK]をクリックしてください。約 1 分後に EZ シリーズが起動し、設定が反映されます。

ご注意

・電源周波数を変更すると、下記の設定が自動的に変更されます。

	電源周波数	
	60Hz	50Hz
フレームレート	1～30	1～25
最大シャッタ時間	1/7.5	1/6.25
最小シャッタ時間	1/15	1/12.5
シャッター速度	1/30	1/25
	1/60	1/50
	1/120	1/100
	1/200	1/200
	1/250	1/250
	1/400	1/400
	1/500	1/500
	1/800	1/800
	1/1000	1/1000
	1/2000	1/2000
	1/2500	1/2500
	1/4000	1/4000
	1/5000	1/5000
	1/8000	1/8000
	1/10000	1/10000

【設定ロード】

（2）参照、ロード

全モデル共通

［参照］ をクリックして、（3）の設定セーブで保存した設定ファイル（***.gz）を選択します。

［ロード］ をクリックして、EZ シリーズに「設定ファイル」を書き込みます。

ご注意

・ネットワークレコーダー DS-NR108 シリーズの WAN ポート経由での設定ロードはしないでください。
また、ネットワークレコーダー DS-NR1000 シリーズから設定ロードはできません。

・型式が異なる場合は設定ロードができません。

・設定ロードが失敗すると再起動が行われます。

・異なるファームウェア バージョンでも設定ロードはできますが、動作は保証されません。

【設定セーブ】

（3）設定セーブ

全モデル共通

［セーブ］ を押して、EZ シリーズの設定情報をパソコン内に保存できます。

ご注意

・設定セーブの際、設定ファイルは拡張子「***.gz」で生成されます。
ファイル名には、モデル名・ファームウェア バージョンなどを入れることをお奨めします。

・IP アドレスは、設定ファイルに保存されている IP アドレスに上書きされます。
設定セーブした EZ シリーズの IP アドレスを確認してから設定ロードを実行してください。

【構成設定】

（4）再起動

全モデル共通

EZ シリーズを再起動したい場合は ［再起動］ ボタンを押してください。

（5）ソフトウェア工場出荷初期化

全モデル共通

ネットワーク設定を除くすべての設定が工場出荷時の初期値に戻ります。

（6）ハードウェア工場出荷初期化

全モデル共通

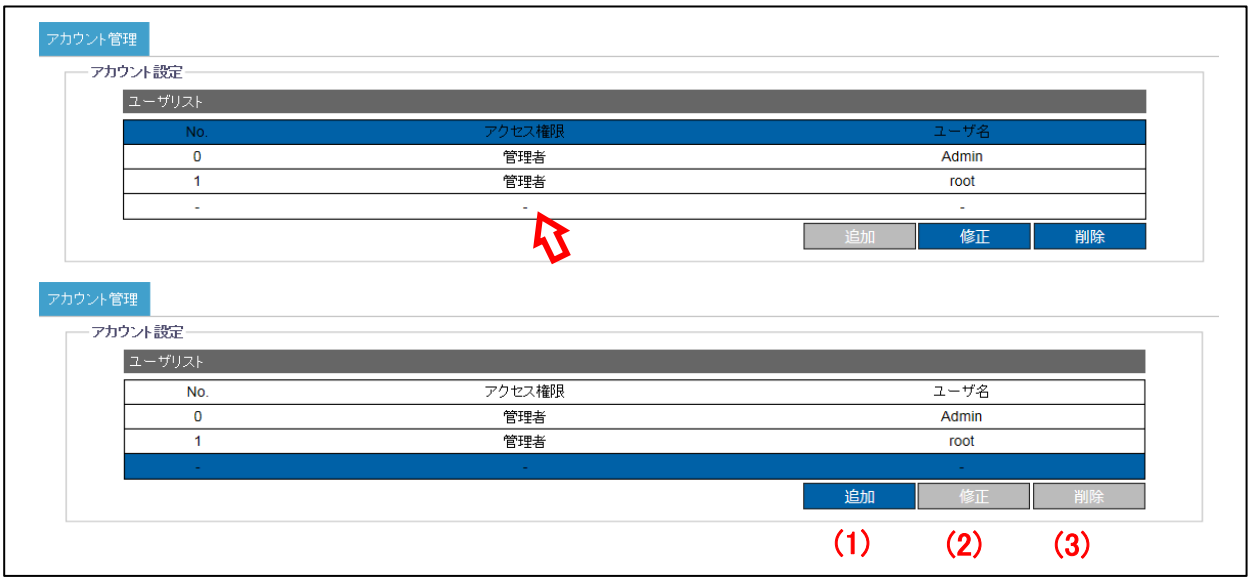
すべての設定（ネットワーク設定を含む）が工場出荷時の初期値に戻ります。

ご注意

ハードウェア工場出荷初期化は、EZ シリーズに搭載されているリセットボタンの
「5 秒長押ししてはなす」を実行したときと同じ動作となります。
EZ シリーズのすべての設定が「工場出荷時の状態」になりますので、十分にご確認のうえ、初期化を実行してください。
詳しくは、EZシリーズ取扱説明書 設置編 4 項 各部のなまえ(⇒P.5)をご覧ください。

3.4.6　アカウント　　全モデル共通設定

■アカウント管理 タブ



【アカウント設定】

（1）追加

[ユーザリスト]の［－］が表示されている行をクリックしてから、[追加］ボタンをクリックすると［アカウント設定］が表示されます。

（2）修正

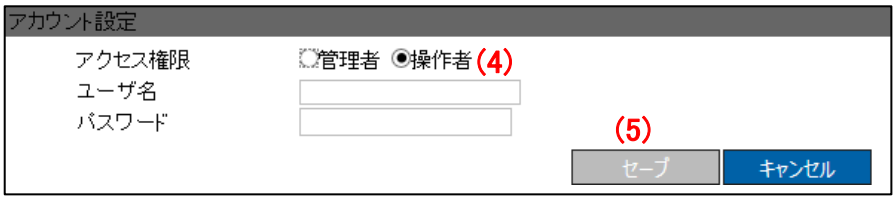
[ユーザリスト］から変更したい行を選択して［修正］ボタンをクリックすると設定画面が表示されます。

[セーブ］をクリックして変更内容を保存してください。

（3）削除

[ユーザリスト］から削除したい行を選択して［削除］ボタンをクリックすると削除されます。

No.0 のユーザは削除できません。



（4）アクセス権限

管理者：ライブビューとすべての設定を操作することができます。

初期設定ではユーザ名[root]/パスワード[admin]と、ユーザ名 [Admin] /パスワード [1234]が登録されています。

操作者：ライブビューのみ使用できます。

アクセス権限（管理者／操作者）を選択し、ユーザ名とパスワードを追加・修正します。

最大 10 名のアカウントを登録できます。

ご注意

・ユーザ名は 4 文字以上、16 文字以内で入力してください。

・パスワードは 1 文字以上、16 文字以内で入力してください。

・半角英数字と、「-」、「.」のみ入力可能です。

・不正アクセス防止のため、パスワードは定期的に変更してください。

（5）セーブ

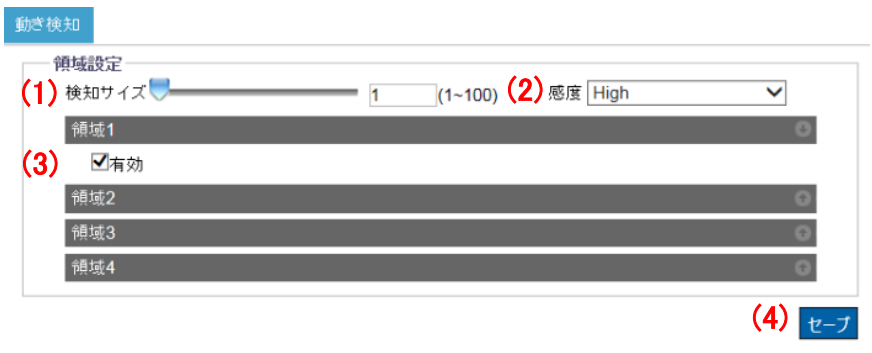
[セーブ] をクリックすると、アカウントの設定が保存されます。

[キャンセル] をクリックすると、設定を破棄して終了します。

3.4.7　イベントソース　EZ-MD110

映像画面上に設定した検知領域内で、人や物体の動きを検知した場合に、イベントとしてネットワークレコーダーにアラームを通知します。検知領域はマウス操作で任意に大きさが変更でき、最大4箇所（領域 1～4）まで設定できます。

動きを検知したときに画面上に マークを表示しますので、設定時に動作を確認することができます。



■動き検知　タブ

【領域設定】

最大4箇所（領域 1～4）の検知領域をそれぞれ任意の大きさで設定します。

設定した検知領域は映像画面上、水色で表示されます。

工場出荷時、領域 1 のみ検知領域を映像画面の全領域にして、検知を有効に設定しています。

領域 2～3 は検知領域、および有効の設定はしていません。

領域 1～4 を切替えるときは ボタンをクリックします。

検知領域の設定は、映像画面上でマウスの左ボタンを押してドラッグ操作します。

設定した検知領域を移動するときは、検知領域上でマウスの左ボタンを押してドラッグ操作します。

設定した検知領域の表示を消すには、映像画面上でマウスの右ボタンをクリックするか、もしくは検知領域以外で左ボタンをクリックします。

ご注意

- 映像画面は 3.3　ライブビュー(⇒P.10)で選択したストリームが表示されます。
- 工場出荷時、ストリーム1、2ともに解像度はアスペクト比 16:9 の設定になっています。アスペクト比 16:9 で検知領域を設定した後に、解像度をアスペクト比 4:3 に変更すると、映像画面の上下部分が検知領域からはみ出します。その上下部分での人や物体の動きは検知されませんので、アスペクト比 4:3 の解像度を選択した後、もう一度検知領域を設定してください。
- 動き検知は物体の動きや周囲の明るさの変化にも反応します。EZ シリーズと物体の距離、明るさの変化など実際の設置環境で動作を確認してから運用を開始してください。
- 工場出荷時は、検知サイズを最小に、感度を最大にしていますので、非常に検知しやすい設定になっています。設置環境にあわせて設定値を調整してください。
- ネットワークレコーダーの取扱説明書もあわせてご確認ください。

（1）検知サイズ

設定値 ： 1（初期値）～100

あらかじめ設定した検知領域に対して、検知する人や物体のサイズを設定します。

設定した検知サイズは領域 1～4 すべて共通となります。

映像画面上で小さな物体に対する動きを検知する場合は、検知サイズを小さめの値に設定します。

映像画面上で大きな物体に対する動きを検知する場合は、検知サイズを大きめの値に設定します。

検知サイズ 1、50、100 の大きさは右図 1 のようになっています。

（設定時に右のような枠は映像画面上に表示されません）

検知サイズの目安は、50：画面の 1/36、100：画面の 1/9 です。

工場出荷時、検知サイズは 1 です。非常に小さな物体の動きも検知します。

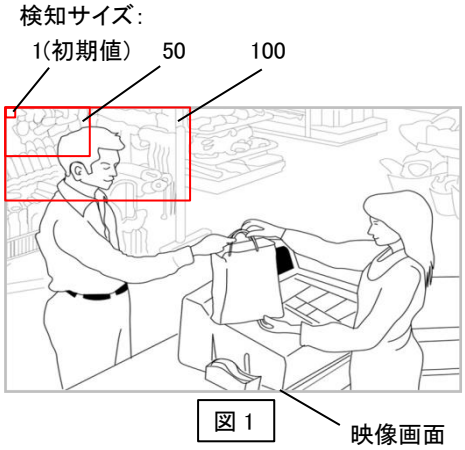


図 1

人や物体が、設定した検知サイズ以上になると検知されます。

右図 2 の例では、検知サイズ 1 と 50 の枠に対して、物体のほうが大きいので両設定において検知されます。

一方、検知サイズ 100 の枠に対して、物体のほうが小さいので検知されません。

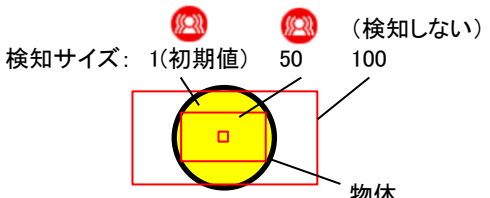


図 2

検知サイズは検知領域の大きさを超えることはできません。

右図 3 のように、検知領域が小さい場合は、たとえ検知サイズを 100 にしても自動で検知サイズが小さくなります。

（検知サイズの設定値は 100 のまま表示されます）

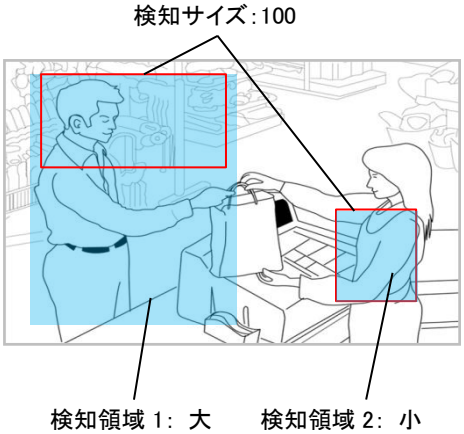


図 3

（2）感度

設定値 ： Low / Mid / High（初期値）

動き検知を検出する感度を選択できます。Low は感度が弱く、High は感度が高くなります。

感度は領域 1～4 すべて共通となります。

（3）有効

動き検知を有効にさせるためには、チェックボックスをクリックしてチェックマークを入れます。

工場出荷時、領域1のみ有効に設定しています。

チェックマークがない領域は検知しません。

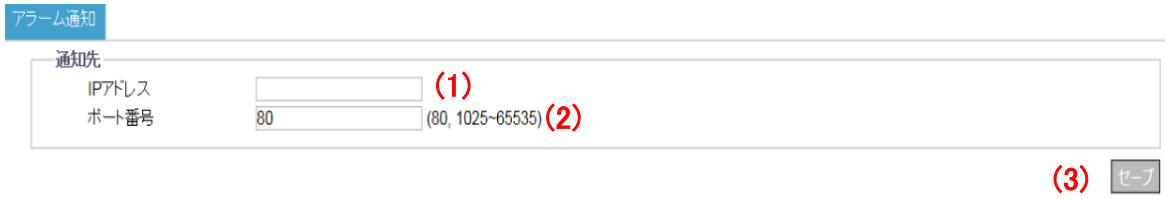
（4）セーブ

領域を選んで検知領域を設定したら、[セーブ]ボタンを押します。

[セーブ]ボタンを押さずに、別の領域を選択すると、設定した検知領域は保存されません。

3.4.8　イベント通知　EZ-MD110

■アラーム通知 タブ



(1)IP アドレス

動き検知があった場合にアラーム通知先となるネットワークレコーダーの IP アドレスを設定します。
ネットワークレコーダーの IP アドレスを確認して入力します。

(2)ポート番号

設定値 ： 80(初期値)、1025～65535
アラーム通知先のポート番号を設定します。
ネットワークレコーダーのポート番号を確認して入力します。

(3)セーブ

アラーム通知先を設定したら[セーブ]ボタンを押して設定を保存します。

4. 付録

4.1　ソフトウェアライセンス情報

ライセンス内容に関しては、別紙 ライセンス情報.pdf をご覧ください。